



札幌東支部

坂本 文彦
Humihiko Sakamoto

私の大学のゼミ旅行は、現地集合、現地解散だった。その目的地が北海道だろうが、九州だろうがいつもそうだった。教養学科地理学コースゆえんであろうか、ゼミ旅行自体は3年生のまじめな研究発表なので、せめてその前後はそれぞれで楽しみなさい、という勝手な解釈をしていた。

その年(昭和61年)は鹿児島で桜島、知覧、指宿、霧島を回るものだった。西鹿児島駅(現在の鹿児島中央駅)集合である。集合時間は11月4日13時であった。

ブルジョアたち(一部の女子および先生)は当日羽田空港から飛行機で現地入り。われわれ金のない男子学生は国鉄の九州周遊券31,300円での旅行である。発着20日間乗り放題、しかも九州内は特急乗り放題という格安なものであった。がしかし、欠点があった。それは、九州に入るまで、それから九州を出た後は各駅停車(一部快速列車は乗れた)にしか乗れない、ということである。

出発したのは学園祭当日の11月2日。打ち上げもそこそこにして、東京駅9番ホームから出発したのは23時25分。もう今はなき大垣行きの夜行列車。当然の四人掛けのため眠りが浅いまま約7時間半揺られ、翌11月3日6時58分到着。

大垣駅では次の西明石行7時7分に乘るため同じような輩とダッシュ。その後、そばを食べることと先ほどの電車で先着する姫路行きに乘るために、途中彦根駅で7時55分下車。

なぜ、そばなのか。それはうまれて初めての西日本上陸のため、本当にそばの汁の色が薄いのか確認。薄かった。でも心なしかしょっぱかったような。

その後、8時8分姫路に向けて出発。10時55分到着。すぐさま11時1分岡山行の乗り込み、12時28分到着。次は、12時45分下関行。

長丁場6時間36分368.0km。ただ、遠かった。そんな記憶だけ。到着は19時21分。駅の外へ出て、深呼吸。19時46分小倉行。20時1分到着。駅前の銭湯を探し、たぶん食事をしたのだと思う。しばし休息。

さあ、ここからは特急乗り放題の特権を生かして……と思っても、こんな夜遅くに西鹿児島行はない。あるのはいずれも門司港駅発の寝台急行「かいもん」と「日南」。

さて寝台かといっても、もともと貧乏学生、寝台券を買う余裕はない。2日続けての4人掛け席。なるべくスペースを確保したいとの一心で、始発駅まで2駅戻り、寝台急行日南22時50分発を選択した。ゆっくり手を伸ばすほどではないが昨日よりはまし、と思ったのもつかの間。小倉駅で乗り込むヒトヒトヒト。あっという間に4人掛け席は埋まり、昨日と同じ眠れぬ車中泊となった。

さて、このまま行けば11月4日9時16分に西鹿児島到着というところだが、そうは問屋が卸さない。同行者の希望で宮崎に5時45分途中下車し、日南線に乗り換え、6時19分に青島到着。鬼の洗濯岩をながめて、7時25分飢肥(おび)に向けて出発。8時9分に到着し、そこから、国鉄バス(周遊券で乗れた)で8時21分都城へ。山々を越えて約2時間かけて到着。11時14分発西鹿児島行きで出発。集合時間にギリギリの12時45分に出発から37時間20分かけての到着と相成った。

どこでどのようにご飯を食べたのか、もう33年前の話である。忘れた。ただはっきりしているのは、これからゼミ旅行が始まるということだけである。

